

開講科目名 / Course	看護理論入門	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	廣田 真里	
担当教員名 / Instructor	秦 さと子、田中 佳子、廣田 真里	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	看護現象を科学的に理解する力や看護の基盤となる看護観を養うことを目的とする。看護理論に関する基本的知識について学習し、看護理論と看護実践の関連・活用について考える。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護理論とは何かについて述べることができる。 2. 看護理論の分類、歴史的変遷について説明できる。 3. 主な理論家の理論概要について説明できる。 4. 看護理論の看護実践への活用方法について考えることができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. Introduction：看護理論とは、看護理論の歴史的変遷 02. F. ナイチンゲール「看護覚え書き」 03. V.A. ヘンダーソン「看護の基本となるもの」 04. H.E. ペプロウ「人間関係の看護論」 05. P. ベナー「ベナー看護論」 06. グループ課題(代表的な理論家の理論についてグループ学習) 07. グループ課題(代表的な理論家の理論についてグループ学習) 08. グループ課題(代表的な理論家の理論についてグループ学習) 09. グループ課題(代表的な理論家の理論についてグループ学習)の発表 10. グループ課題(代表的な理論家の理論についてグループ学習)の発表 	
その他の授業の工夫	講義に加えて、課題についてグループワークしプレゼンテーションを行う。グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを通して、理解につなげる。	
時間外学修	<p>【事前学習】次回の理論家の理論についての概説を予習すること。</p> <p>【課外学習】グループ課題に積極的に取り組み、プレゼンに向けた準備に計画的に取り組むこと。</p>	
評価方法と評価割合	出欠席(10%)、提出物(50%) (提出物は個人レポート及びプレゼンテーション資料を含む)、授業態度(40%) (授業態度にはグループワークやプレゼンテーションおよびディスカッションにおける態度を含む)の3つから総合的に評価する。	
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護理論 看護理論21の理解と実践への応用 改訂第3版(南江堂) 2. 看護覚え書(現代社) 3. 看護の基本となるもの(日本看護協会出版会) 	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	廣田真里；病院の看護師 秦さと子；病院の看護師 田中佳子；病院の看護師 水迫祐人；病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	多領域での看護実践経験から具体例を用いることで、看護理論に関する理解を促し、実践にどのようにつなげるかを考察する支援を行う。	